

事務事業名		市有施設のあり方に関する基本方針策定事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり						担当係	行政経営係	担当課長名	齋川 一彦		
	施策	1 効率的な行政経営の推進						新規事業・継続事業	新規事業				
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成						実施計画事業・一般事業	実施計画事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	224	2	1	1	1	市有施設のあり方に関する基本方針策定事業	任意的事業・義務的事業	義務的事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H26年度～H27年度		根拠法令 条例等		実施方法	一部委託					
							事業分類	計画策定・管理事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
総務省から要請のあった「公共施設等総合管理計画」を包含した市有施設のあり方に関する基本方針を策定する。			計画等作成支援業務委託契約(10月) 委託業者との公共施設マネジメント打ち合わせ(10月) 委託業者との公共施設マネジメント打ち合わせ(12月) 施設所管課向け説明会(12月) 基礎データの収集・整理(12月～3月) 委託業者との公共施設マネジメント打ち合わせ(3月)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			基本方針策定に向けた会議・説明会開催回数	回		4	9			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 市民 ② 市職員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人		122,582	121,522			
			行政職員数	人		790	789			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市有施設の老朽化に対応する更新費用や維持管理経費、配置状況などを明らかにし、今後の市有施設等のあり方について、市民と市職員に共通認識を持ってもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			基本方針策定の進捗度	%		50.0	100.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			休廃止した事務事業数	件		89	115			
			見直しが図られた事務事業数	件		498	595			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		6,272	6,015					
	事業費計(A)	千円	0	6,272	6,015	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	6,272	報償費	260		
							旅費	5		
						需用費	10			
						委託料	5,740			
人件費	人	2		2						
のべ業務時間	時間	600		1,200						
人件費計(B)	千円	0	2,365	4,729	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	8,637	10,744	0	0				

事務事業名	市有施設のあり方に関する基本方針策定事業	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	担当係	行政経営係
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	「佐野市行政経営方針」を踏まえ、平成26年度から事務事業として開始した。また、平成26年4月に総務省から「公共施設等総合管理計画」策定の要請があった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併後、施設の見直しは行われておらず、市有施設等のあり方を見直し、再編統合等の取組を進める必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会において、今後の市有施設等の老朽化に対応する施設維持管理や市有施設マネジメントについての質問がされている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	人口・財政等の市の実情を踏まえた施設運営の適正化を図るため、市有施設等のあり方を検討し、方針を策定することは効率的な行政経営の推進につながる取組である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	本市の効率的・効果的な行政経営を行うため、今後の市有施設等のあり方に取り組むことは、市の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	この事業を行うことにより、今後、市有施設の老朽化に対応する更新費用や維持管理経費、配置状況などを明らかにし、市民と市職員が共通認識を持ってもらうことが必要であることから、現状の対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	基本方針を策定し、今後の市有施設等の適正化を推進することで成果を出すことができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 施設管理運営適正化事業 施設見直しと施設保全について、庁内で「市有施設庁内見直し計画」、「市有建築物保全方針」、「市有建築物維持管理マニュアル」を策定しており、連携が図れる。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費は業務委託の委託料を計上しているため、事業費の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	この事業は、行政内部の事務事業であるが、この事業を進めることは、効率的な行政経営の推進に貢献するものなので、結果的に受益者は不特定多数の市民(全市民)となる。そのため、受益者は特定されず、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 今後のマネジメントを推進していくために必要な施設の状況などを整理し、これらを踏まえて市有施設の再配置基本方針を策定し、施設の管理・活用を行っていくことで終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			